

目 次

1. はじめに	1
1.1 本研究の背景と目的	1
1.2 研究の構成	1
2. 港湾施設の設計における耐震性能と被災確率評価の考え方	1
2.1 基準・マニュアル類における耐震性能の考え方	1
2.2 港湾施設の耐震設計に関する既往の研究	4
3. 貨物輸送の経済損失も考慮した重力式岸壁の確率的経済評価手法	5
3.1 本研究で提案する手法の概要	5
3.2 バースの被災確率の算定方法	6
3.3 港湾構造物の地震被災による経済損失の算定方法	9
3.4 設計震度別の総コスト算出と設計震度の選択	11
4. 設計震度設定の具体例	12
4.1 例1 外貿コンテナバース（多目的国際物流ターミナル）が1バースのみ存在するA港のケース	12
4.2 例2 外貿コンテナバースが複数存在するB港のケース	15
5. おわりに	17
5.1 本研究の成果	17
5.2 今後の課題	18
謝辞	19
参考文献	19
付録	21

